

一般社団法人 教育システム情報学会

Japanese Society for
Information and Systems in Education

ニュース・レター No.243



発行日 2023年4月1日

発行所

一般社団法人

教育システム情報学会

発行者 柏原 昭博

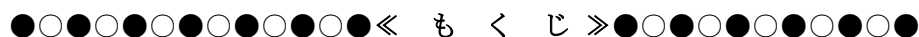
〒162-0801

東京都新宿区山吹町358番地5

アカデミーセンター

URL <https://www.jsise.org>

E-MAIL secretariat@jsise.org



第48回 JSiSE 全国大会のご案内・・・・・・・・・・2	特集論文研究会開催報告・・・・・・・・・・20
研究会開催年間スケジュール・・・・・・・・・・5	学生研究発表会開催報告・優秀賞・・・・・・・・22
第1回研究会開催案内・・・・・・・・・・6	研究会報告年間購読案内・・・・・・・・・・25
科研費申請支援制度のご案内・・・・・・・・・・8	支部活動報告・・・・・・・・・・26
特集号論文募集・・・・・・・・・・10	北信越支部
博士論文紹介の原稿募集・・・・・・・・・・12	広報からのお知らせ・・・・・・・・・・27
合同英文誌 ITEL 論文募集・・・・・・・・・・13	他団体 協賛・後援イベントのお知らせ・・28
「ラーニングイノベーションングランプリ 2023」応募受付開始・・・・・・・・・・15	国際会議のご案内・・・・・・・・・・29
第5回研究会開催報告・・・・・・・・・・17	会費納入のお願い・・・・・・・・・・31
第6回研究会開催報告・・・・・・・・・・18	事務局より・・・・・・・・・・33
	会員専用ページの案内, 入会のご案内,





第 48 回 JSiSE 全国大会のご案内

担当者： 全国大会委員会

テーマ：XR がもたらす学びの場と新しい学習・教育の可能性

<https://taikai2023.jsise.org/>

- 開催日時： 2023 年 8 月 29 日(火) ～ 8 月 31 日(木)
- 会 場： 近畿大学 東大阪キャンパス / オンライン（ハイブリッド開催）
*変更の可能性あり
- 主 催： 一般社団法人教育システム情報学会

■ 全国大会の実施方法について

第 48 回全国大会は、昨年同様、対面・オンラインのハイブリッドで実施できるように調整を進めております。詳細な実施方法につきましては、決まり次第アナウンスいたします。

なお、今後のコロナウイルスの感染拡大に応じて、すべてオンラインに変更する可能性もありますのでご留意ください。

■ 大会日程（予定）

8 月 29 日 (火)	
午前	プレカンファレンス
午後	オープニング（開催校挨拶），基調講演， 一般・企画セッション，インタラクティブセッション
8 月 30 日 (水)	
午前	一般・企画セッション
午後	各種表彰，メインイベント， インタラクティブセッション・学生研究特別セッション（懇親会：検討中）
8 月 31 日 (木)	
午前	一般・企画セッション
午後	一般・企画セッション，現地企画イベント，クロージング

(*) 大会日程は変更される可能性があります。

■ 交通アクセスについて

<https://www.kindai.ac.jp/access/>

<最寄り駅まで>

- JR 新大阪駅～近鉄大阪線・長瀬駅まで約 45 分
- JR 新大阪駅～近鉄奈良線・八戸ノ里駅まで約 40 分
- JR 新大阪駅～JR 俊徳道駅まで約 30 分

<最寄り駅から近畿大学まで>

- 近鉄大阪線・長瀬駅から徒歩約 10 分
- 近鉄奈良線・八戸ノ里駅から徒歩約 20 分、バス約 6 分（直行バス、近鉄路線バス）
- JR 俊徳道駅からバス約 15 分（直行バス）

■ 大会までのスケジュール

原稿修正締切の後に、参加申込が開始されます。発表者には、参加申込の開始時にメールでご連絡いたします。本年も講演申込と投稿締切が同日となっております。また、投稿締切後、原稿修正期間が設けられています。例年と異なりますのでご注意ください。

- | | |
|----------------------|-----------------------------|
| ○ 2023 年 4 月 13 日(木) | 講演申込・投稿開始 |
| ○ 2023 年 6 月 1 日(水) | 講演申込・投稿締切 |
| ○ 2023 年 6 月 7 日(水) | 原稿修正締切 |
| ○ 2023 年 6 月 8 日(木) | 参加申込開始 |
| ○ 2023 年 7 月 6 日(木) | [発表者] 参加申込締切 |
| ○ 2023 年 8 月 1 日(火) | [発表者以外] 参加申込締切(郵便振替・コンビニ決済) |
| ○ 2023 年 8 月 8 日(火) | 参加費納入締切(郵便振替・コンビニ決済) |
| ○ 2023 年 8 月 31 日(木) | [発表者以外] 参加申込締切(クレジットカード) |

■ プログラム

プログラムは変更される可能性があります。最新の状況は大会 Web サイトに掲載いたします。

○企画セッション

1. エージェンシー育成のための社会情動的スキルに関する研究
2. 教育 DX を支える LA (Learning Analytics) の多面的検討
3. 学習体験における先進的学習メディアと IA (Intelligence Amplification)
4. 近未来の医療者教育
5. エビデンスに基づいた学習者中心の教育・学習支援

■ 講演論文集について

第 45 回大会より CD-ROM での配布を廃止し、Web による配布のみとしております。Web 版の講演論文集は、2023 年 8 月 21 日(月)に大会参加者のみに公開され、2024 年 3 月 1 日(金)に一般公開されます。

■ 企業展示・広告の募集

企業展示・広告を募集いたします。お申し込み先など、詳細は大会 Web サイトでお知らせいたします。

■ 協賛金のお願い

大会運営のための諸費用として使用させていただく協賛金を募集しております。ご協力賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。詳細は大会 Web サイトでお知らせいたします。

■ 大会事務局

〒162-0801 東京都新宿区山吹町 358-5 アカデミーセンター

一般社団法人 教育システム情報学会 全国大会委員会

E-mail : jsise-desk@bunken.co.jp (@を半角に変更してください)



2023 年度研究会開催スケジュール

担当者： 研究会委員会

2023 年度の年間スケジュールは下記の通りです。

詳細は、学会ウェブページ (https://www.jsise.org/society_research/) をご覧ください。

回	テーマ	開催日	会場	申込締切	原稿締切
第 1 回	DX 時代に向けた学習環境 の变革・リスクリソグ／ ヘルスケア分野の DX 人材 育成／一般	2023 年 5 月 20 日 (土)	早稲田大学 早稲 田キャンパス (現 地、またはハイブ リッド)	終了	2023 年 4 月 13 日 (木)
第 2 回	ICT を活用した学習支援 と教育の質保証／一般	2023 年 7 月 15 日 (土)	北星学園大学	2023 年 5 月 25 日 (木)	2023 年 6 月 15 日 (木)
第 3 回	先進的演習・実習支援環 境／一般	9 月 30 日 (土) 【変更の 可能性あり】	静岡大学浜松キャン パス 【オンラインに変更 の可能性あり】	2023 年 8 月 10 日 (木)	2023 年 8 月 31 日 (木)
第 4 回	多様なスキルの開発を支 える学習デザインとその 支援技術／一般	11 月 11 日 (土) 【変更 の可能性あり】	関西大学	2023 年 9 月 21 日 (木)	2023 年 10 月 11 日 (木)
第 5 回	教育 DX と実世界指向学習 環境／一般	2024 年 1 月中を予定	拓殖大学 (文京キャン パス)	未定	未定
第 6 回	実社会や他校種との接続 を意識したデータサイエ ンス教育／一般	2024 年 3 月中を予定	山口大学 (ハイブ リッド) 【オンラインに変更 の可能性あり】	未定	未定
特集	未定	2024 年 3 月中を予定	山口大学 (ハイブ リッド) 【オンラインに変更 の可能性あり】	未定	未定

研究会全般に関するお問い合わせは、学会事務局までお願いいたします。



2023 年度 第 1 回研究会 開催案内

担当者： 加藤泰久，仲林清，真嶋由貴恵，松居辰則，森本容介（研究会委員会）

■ テーマ：

DX 時代に向けた学習環境の変革・リスキリング／ヘルスケア分野の DX 人材育成／一般
※学習分析学会と合同で開催します。

■ 開催日時：2023 年 5 月 20 日（土）

■ 開催場所：早稲田大学 早稲田キャンパス（現地、またはハイブリッド）

■ 趣旨：

2023 年度第 1 回研究会は、「DX 時代に向けた学習環境の変革・リスキリング／ヘルスケア分野の DX 人材育成／一般」のテーマで実施いたします。

DX（デジタルトランスフォーメーション、Digital Transformation）とは、経済産業省によると「企業がビジネス環境の激しい変化に対応し、データとデジタル技術を活用して、顧客や社会のニーズを基に、製品やサービス、ビジネスモデルを変革するとともに、業務そのものや、組織、プロセス、企業文化・風土を変革し、競争上の優位性を確立すること」とされています。教育や学習においても DX は今後の重要な課題となります。DX とは ICT の利活用をさらに高度化し、データ・技術・人間が共生して新たな価値を創出することが本質です。そこで、この研究会では教育や学習における DX について多面的に議論したいと考えております。特に、新しい技術利用という観点にとどまらず、「どのような新しい価値（教育効果、行動変容、持続可能性等）が創出されるか」という観点を重視した研究や実践報告について議論したいと思います。

「DX 時代に向けた学習環境の変革・リスキリング」に関しては、DX 時代に向けた大学や企業における人材開発（大学での教育も含む）、組織マネジメントのための、学習コンテンツ設計、インストラクショナルデザイン、品質評価、学習者支援、ブレンデッドラーニング、インフォーマルラーニングなどの方法論、e ラーニングツール、システム、実践環境やモデルに関する提案・開発・応用など幅広いトピックスに関するご発表を募集いたしました。特に、「リスキリング（Reskilling）」とは、一般的には「スキルや能力の再開発・再教育」のことを意味しますが、大学や企業等の組織の DX 戦略において新たに必要となる業務・職種に高いレベルで順応できるように、自らがスキルや知識を再習得することが本質的です。そのための学習環境の構築は重要な課題となります。さらに、教育における DX は学習データの活用が重要な課題となります。学習データの収集・分析・可視化に関する理論・技術・実践に関する幅広い発表を募集いたしました。そして、実効性の高い学習データの分析と利活用の可能性や課題についても議論したいと思います。

「ヘルスケア分野の DX 人材育成」に関しては、マルチメディアを活用した e ラーニングが多く医療系大学や病院などに導入され、ICT を活用して膨大な知識の効率的な学習、新しい知識の定着、医療・

看護技術の習得などで、高い学習効果が得られたことが報告されています。本研究会では、ヘルスケア分野において求められている高い実践能力をもつ人材の育成やナレッジマネジメント、学習者支援、学習コンテンツの設計、インストラクショナルデザイン、医療シミュレーション教材の開発や実践、医療サービスの質保証ならびに質評価、e ラーニング教材制作、臨床や教育機関での実践・運営環境、著作権処理に関する様々なトピックを扱い、この分野における専門職教育に必要な知識や技能を習得するための ICT 活用教育方法、さらにはこの分野における DX 人材について議論を進めていきたいと思っています。

■ 発表時間等：

通常の発表（原稿あり）は 25 分（発表 17 分、質疑 7 分、入れ替え 1 分）を、原稿なし発表は 15 分（発表、質疑、意見交換等を自由にアレンジ）を予定しております。

■ 発表申込および研究会への参加方法：

研究発表および研究会参加には、研究報告の年間購読（4,000 円/年）または各回の研究報告の購入（1,000 円/回）が必要となります。ただし、聴講のみを希望する学生会員は研究報告を購入する必要はありません。Zoom 開催の場合のアクセス先は、参加申込時に送信されるメールに記載されます。

○発表者

原稿提出は、第 1 回研究会のページ (https://www.jsise.org/research_society/2023_cfp_1st/) の「申込者ログイン」よりお願いします。また、事前参加申込（研究報告の購入）は 2023 年 4 月 14 日 9 時に開始します。開始時刻以降に、「申込者ログイン」から手続きしてください。

○聴講のみを希望する学生会員

聴講のみを希望する学生会員は、「申込者ログイン」での手続きは行わず、下記の問い合わせ先まで直接メールでご連絡ください。

○上記以外の参加者

事前参加申込（研究報告の購入）は 2023 年 4 月 14 日 9 時に開始します。開始時刻以降に、第 1 回研究会のページ (https://www.jsise.org/research_society/2023_cfp_1st/) の「申込者ログイン」から手続きしてください。

■ お問い合わせ先：

松居辰則（早稲田大学、第 1 回研究会担当委員）

E-mail：matsui-t [at] waseda.jp（[at]の部分を、「@」に変えて下さい。）



科研費申請支援制度（2023 年度春期）のご案内

担当： JSiSE 人材育成委員会

教育システム情報学会では、次代を担う若手研究者の自立，研究活動の活性化を積極的に支援することを主旨として，科研費申請支援制度を試行します．本学会の理事等を中心に，当該分野の科研費審査や獲得経験を有する複数のシニア研究者（匿名）が，提出された申請書に対して，主張点や論旨の明確化，焦点化など，審査員に上手に伝えアピールする視点から，採択に向けたコメントを書面で提供するものです．申請書評価の多様な見方に触れて頂くためにも，学会としてまとめることはせずコメントータからのコメントをそのまま提供します．これらを参考材料として申請者ご自身の判断の下で取捨選択しての申請書のブラッシュアップに役立てて頂く主旨のものです．学会およびコメント提供者は申請内容について守秘義務を負うものとし，なお学会およびコメント提供者は採択に関する責任を負うことはできませんので，予めご承知おきください．

本制度は研究活動スタート支援（春季募集）および若手研究・基盤研究（C）（夏季募集）を支援対象とします．主として以下の分野を対象にしますが，JSiSE が学際的な領域を対象にしていることから，他の分野でもできるだけ柔軟にお受けしたいと考えていますので，下記問い合わせ先までご相談ください．

- 支援種目：
 - 研究活動スタート支援（春期募集）
 - 若手研究（夏季募集）
 - 基盤研究（C）（夏季募集）（※ただし、若手研究の応募資格を有する方に限る）
- 分野：
 - 「大区分 A」「中区分 9：教育学およびその関連分野」
 - ◇ 09070 教育工学関連
 - ◇ 09080 科学教育関連
 - 「大区分 J」「中区分 62：応用情報学およびその関連分野」
 - ◇ 62030 学習支援システム関連
- 申請者は学会員であることが必要です．

スケジュールは以下の通りです．ご所属機関により提出時期が異なることを踏まえ，提出期間に幅を持たせています．

【春期募集スケジュール】

○エントリー

研究活動スタート支援：受付中

下記提出先まで電子メールにて、 代表者氏名(所属)・タイトル・応募種目・分野(大区分、小区分)をお知らせください。

サブジェクトは「JSiSE 科研費申請支援」を含む文字列でお願いします。

※エントリーがなくても申請は随時受付いたしますが、事前にエントリー頂ければメンターに書類を迅速にお送りできますので、結果の返送も早くなります。

※若手研究、基盤研究 (C) は夏季募集を予定しています。

○申請書提出

研究活動スタート支援：申請者所属機関の申請書類締め切りの約2週間前まで

申請書のファイル (MS-Word または PDF 形式) を下記提出先までお送りください (予算明細などの詳細まで埋めていただく必要はありませんが、よりよいコメントを提供するために、ある程度内容が固まってからご提出いただくのが望ましいと思われます)。提出いただき次第、メンターに申請書を送付します。

○コメントのお返し

【各メンターから提出があり次第、随時コメントをお返します。】

事前エントリーがあった場合申請書提出から1週間前後、ない場合10日前後の返信を予定しておりますが、事情により遅れる可能性もございますので余裕をもってお申込みください。

エントリー、申請書提出およびお問い合わせ先

JSiSE 人材育成委員会 (jsise-y-support@googlegroups.com)



2024 年度発刊 特集号論文募集

担当者： 学会誌編集委員会委員長 瀬田 和久（大阪府立大学）

「答えのない課題の解決に挑む学び」を支える教育システム・デザイン」

論文投稿締切：2023 年 6 月 1 日(木)

2024 年 4 月 1 日 発行（予定）

これからの社会に求められる「新たな価値の創造」に対応できる人材の育成を支える教育システム・デザインの提案・実践、また、それらの取り組みを加速する先駆的な教育 DX の取り組みに関する論文を募集します。

現代は、「先行きが見通せない予測困難な時代」「持続可能な未来のために劇的な社会変革が求められる時代」といわれています。価値観が多様化し、複雑さを増す社会における喫緊の課題として、新たな課題の発見・解決を通じた価値創造に対応できる人材の育成が挙げられています。従来からの価値のみに縛られず、「答えのない課題」に挑戦し、解決していく人々を支えるための教育システム情報学領域からのアプローチを、本特集を通じ、広く社会に発信していきます。

1. 対象分野

「課題解決プロセス（課題の定義や解決、評価）」「創造性・創造的問題解決」「研究開発（R&D）」「PBL」などに関連した取り組みの他、価値創造ができる人材育成のカギと考えられる「主体的な学び」「協働的な学び」「個別最適な学び」の実現に向けた取り組みなどを広く募集します。またこれらを支える技術の在り方として ICT 活用・先進的学習支援技術・教育 DX の観点からの研究論文も歓迎いたします。

2. 論文種別

すべての種別（一般論文、実践論文、ショートノート、実践速報）の論文を募集いたします。なお、査読を通して、異なる種別での採録となる場合があります。また、内容により一般号掲載論文へ変更する場合があります。

3. 投稿要領

教育システム情報学会学会誌原稿執筆要領に準じます。詳細は教育システム情報学会の Web ページで確認してください。Web 投稿の際には、以下の点にご注意ください。

Web 投稿の際には「投稿種別」で「特集号」を必ず選択してください。また、特集論文研究会（2023 年 3 月 18 日開催）で発表を行った方は、投稿情報入力に際して、特集論文研究会での発表題目と発表番号

を記載してください。特集論文研究会での発表がないご研究でも、特集号論文へのご投稿は可能です。多くのおみなさまからの積極的なご投稿をお待ちしております。

4. スケジュール

論文投稿締切： 2023年6月1日(木)
採録通知予定： 2023年12月初旬まで 【予定】
学会誌 掲載： 学会誌Vol. 41, No. 2, 2024年4月1日発行 【予定】

5. 特集号編集委員会

委員長： 瀬田 和久(大阪公立大学)
副委員長： 村上 正行(大阪大学)
筆頭幹事： 後藤田 中(香川大学)
幹 事： 高木正則(電気通信大学)， 田中孝治(金沢工業大学)，
山崎 治(千葉工業大学)
幹事補佐： 近藤 伸彦(東京都立大学)， 津森伸一(聖隷クリストファー大学)，
山元 翔(近畿大学)
委 員： 学会誌編集委員

6. 問い合わせ

全 般： 山崎 治(千葉工業大学)
E-mail: yamazaki@net.it-chiba.ac.jp
(「@」の部分は、半角の「@」に変えて下さい)



「博士論文紹介」の原稿募集について

担当者： 学会誌編集委員会委員長 瀬田 和久（大阪府立大学）

学会誌のコミュニティプラザ「博士論文紹介」は2021年より、各巻のNo. 3（7月1日発行）に集約をし、博士論文の紹介を総覧できる形式へ移行しました。複数の博士号取得者を一同に紹介することで「博士号取得者の研究テーマの動向を読者の皆様が一目で把握できる」「博士取得者同士が互いを知る機会として、交流を深めるきっかけとなる」などのメリットがうまれることを期待しております。

年1回に集約したことにより、寄稿依頼を年度末前後の3～4月頃とし、本誌や学会のニューズレターなどを通じて、募集を行って参ります。お近くに博士号取得者や、今後学会誌掲載時に博士号取得予定者がいらっしゃいましたら、ご本人または、指導教員の立場によらず、以下の教育システム情報学会誌編集委員会担当委員のメールアドレスまで、お気軽に情報提供いただけますと幸いです。

2023年7月1日発行予定となります学会誌Vol. 40, No. 3につきましては、【2023年4月21日（金）】を原稿締切とし、募集を行っております。また以下記載のURLにありますとおり、博士論文紹介原稿用の執筆要領&原稿テンプレートをご利用いただき、原稿および必要事項の提出に関しましても、Google フォームを用いてご提出をお願いいたします。

スケジュール

原稿締切： 2022年4月21日（金）

学会誌掲載： 学会誌Vol. 40, No. 3, 2023年7月1日発行（予定）

執筆要領および原稿提出

執筆要領&原稿テンプレート：

<https://drive.google.com/uc?export=download&id=1ZQLwCvdBb0RF7YCtXiBlk3rinKqe7Qsc>

原稿提出（Googleフォーム）：

<https://forms.gle/bjSbqUr8o4p646349>

問い合わせ等

問い合わせ先： 教育システム情報学会誌編集委員会 担当委員 山崎 治（千葉工業大学）

E-mail: yamazaki@net.it-chiba.ac.jp

（「@」の部分は、半角の「@」に変えて下さい）



Information and Technology in Education and Learning (ITEL)

論文募集 [<https://www.j-itel.org>]

日本教育工学会（JSET）との合同英文誌 ITEL（Information and Technology in Education and Learning, <https://www.j-itel.org>）Vol.3 への掲載原稿を募集しています。この ITEL では、我が国における教育学・教育システム情報学の国際的な発信力を強化するとともに、国際的な共同研究・研究交流のプラットフォームになることを目指しています。研究対象は、教育システム情報に関連した領域全般はもちろん、様々な教授学習場面のための方法・技術に関する基礎研究・開発研究・実践研究等も含まれます。ITEL は、J-STAGE をプラットフォームとしたオープンアクセスジャーナルです (<https://www.jstage.jst.go.jp/browse/itel/list/-char/ja>)。先日、Vol.2 が公開されました。投稿後、原則、7 か月以内に 2 回の査読が終了するように配慮しています。短期間で、革新的な研究成果、ユニークな実践等を世界に向けて発信するために活用していただければ幸いです。学位取得を目指されている方や留学生のみなさんからのご投稿もお待ちしております。

- 論文種別： 一般論文（Regular Paper, 基本 8 ページ）, 実践論文（Practice Paper, 基本 8 ページ）, システム開発論文（Development Paper, 基本 8 ページ）, ショート論文（Short Paper, 基本 4 ページで最長 6 ページまで）
<これまでのショートノート（Short Note）と実践速報（Report on Practice）を含みます>
- 投稿締切：1 年中投稿を受け付けています。
- 投稿要件：
 - 論文は他学会において査読中でないこと、そして、その主要部分が未発表であること。ただし、国際会議、学会の大会、研究会等で口頭発表した内容をまとめたものは投稿できます。
 - 投稿者は本会会員である必要はありませんが、本会会員あるいは JSET 会員である場合には掲載料に会員の価格が適用されます。投稿者が 2 名以上の連名の場合は、そのうち少なくとも 1 名が会員であれば、掲載料に会員価格が適用されます。
- 原稿執筆要領：ITEL Web サイトに、執筆要領（Author Guidelines）等がアップされています。
- 投稿方法：< [ITEL 電子投稿システム] https://iap-jp.org/j-itel/journal_e/ >
 - ITEL Web サイト上から、電子投稿システムにログインして投稿を行って下さい。
 - 初めて電子投稿システムを利用する場合は、まず利用者用 ID の発行手続きを行って下さい。
 - 投稿論文は、論文執筆用テンプレートファイルを用いて PDF ファイルに出力して提出して下さい。
 - 投稿論文は、投稿前にできるだけ英文校正（Proofreading）を受け、その証明書の提出を推奨しています。
- 査読方法：
 - 投稿論文の査読は、JSiSE 英文誌と同様に、シングルブラインド制で行われます。
 - 査読者は 2 名で、査読回数は 2 回となります（著者照会は 1 回のみ）。

- 評価項目は、Originality（新規性）、Usefulness（有用性）、Reliability（信頼性）、Presentation（明瞭性）の4項目となり、JSiSE 英文誌と異なり、査読中に投稿論文の種別変更はありません。
- 投稿者の希望に基づき、JSiSE 英文誌と同様、日本語で査読コメントを受けることもできます。



「ラーニングイノベーショングランプリ 2023」応募受付開始

教育システム情報学会 産学連携委員会 委員長 松浦 健二

JSiSE が 2016 年度より共催している産学連携イベントであるラーニングイノベーショングランプリが今年度も開催されます。2023 年度はグランプリの表彰式・受賞者プレゼンテーションが、2023 年 7 月下旬に東京国際フォーラムで開催される予定です。

本グランプリは、教育や人材育成に関わる企業と、革新的な学習・教育環境を研究している高等教育機関のマッチング機会を拓けるものです。昨今、企業内教育においてはデジタル化の急速な進展を背景にラーニングテクノロジーに注目が集まり、今後は学術発の知見に対する産業界の期待も高まることが予想されます。こうしたなかで、本グランプリは産学のブリッジ役として、新たな枠組みを目指すものです。

<募集ジャンル>

ラーニングイノベーショングランプリでは、テクノロジー分野だけでなく教育実践や教授法も含めた新たな学習・教育環境の研究内容を広く募集します。

キーワード：AR, VR, IoT, AI, ディープラーニング, デバイス, プラットフォーム, 教育ビッグデータ, ラーニングアナリティクス, コンテンツ, 教育実践, 教授法, 教育分野におけるシステムの利活用, メタ認知, SRL/SDL など

ラーニングイノベーショングランプリでは、学生だけでなく若手研究者（2023 年 5 月 15 日時点で 40 歳未満）からの応募も受け付けます。但し、学生または若手研究者を主とする研究室での研究に焦点をあてた企画のため、学生と若手研究者を最低各 1 名、あるいは若手研究者単独がチームの最小構成となります。

研究成果を論文評価とは異なる目で見ただけの機会であり、産業界からのフィードバックを得られる機会です。是非ご応募をご検討ください。

【スケジュール】

- 3 月 16 日（木）：公式 Web サイトオープン 応募受付開始
- 5 月 15 日（月）：応募受付締め切り（午前 11:59 締切り）
- 6 月 1 日（木）：公式サイトで一次審査結果発表
- 6 月 1 日（木）～6 月 20 日（火）：一次通過者動画制作期間
- 7 月 10 日（月）：公式サイトで審査結果発表
- 7 月下旬：受賞者プレゼンテーション・表彰式（会場：東京国際フォーラム）

【公式サイト】

<https://ligp.gingerapp.co.jp/>

★これまでに受賞された研究がアーカイブス (<https://ligp.gingerapp.co.jp/archives/>) としてまとめられています。紹介動画もございますので、是非ご覧ください。

【運営体制】

主催：ラーニングイノベーションコンソシアム (LIC)

共催：教育システム情報学会 (JSiSE)，日本イーラーニングコンソシアム (eLC)

協賛（予定、前年度の協賛団体）：

日本情報科教育学会，日本教育工学会，人工知能学会，情報処理学会 CLE 研究会，学習分析学会，電子情報通信学会教育工学研究会

協力：ジンジャーアップ（公式サイト）

運営：ラーニングイノベーションングランプリ実行委員会

プラチナスポンサー：ジンジャーアップ

ネーミングライツスポンサー：Moodle Pty Ltd/イーラーニング，ユームテクノロジージャパン

【実行委員】

川口 泰司 : LIC／サイコム・ブレインズ株式会社 ※実行委員長

加藤 憲治 : LIC／日本イーラーニングコンソシアム

前田 宏 : LIC／株式会社ジンジャーアップ

青木 泰子 : LIC／株式会社イーラーニング

越智 洋司 : JSiSE／近畿大学

東本 崇仁 : JSiSE／東京工芸大学

米谷 雄介 : JSiSE／香川大学



第 5 回研究会開催報告

担当者： 佐々木整（拓殖大学）、三石大（東北大学）、光原弘幸（徳島大学）、
高木正則（電気通信大学）、鷹野孝典（神奈川工科大学）

- テーマ：教育 DX と実世界指向学習環境／一般
- 開催日：2023 年 1 月 21 日（土）
- 開催会場：拓殖大学 文京キャンパスおよび Zoom によるハイブリッド開催
- 概要：

2022 年度第 5 回研究会は、2023 年 1 月 21 日（土）に「教育 DX と実世界指向学習環境／一般」をテーマに開催いたしました。新型コロナウイルスの第 8 波とインフルエンザの同時流行やオミクロン株の別の亜系統への警戒が高まり完全オンラインで実施する可能性を考慮しながら準備を行い、研究会当日を迎えることになりました。

本研究会のテーマである“教育 DX”や“実世界指向学習環境”に関するシステム開発や実践等の様々な発表に加え、アクティブラーニングやメタバース等の創意工夫や実践に関する研究について、計 12 件の発表がなされ、全国から 30 名（会場 10 名、オンライン 20 名）の参加のもと非常に活発な討論が行われました。

最後に、発表者や参加者の皆様のご協力により接続トラブルなどもなく円滑に研究会を進行することができました。この場を借りて担当委員より御礼申し上げます。ありがとうございました。

■ 発表タイトル一覧：

- ・ 授業ガイドの変遷からみる継続的な全学 PBL 科目運営の課題－ガイドブックの内容改修の分析による考察－
- ・ プロジェクト型学習円滑化支援を目的としたロールプレイ教材開発の試み
- ・ ビデオ教材の活用を目的とした再編集ツールの開発
- ・ 発言の仕分けに着目したファシリテーションの学習手法の改良と結果の考察
- ・ 反転授業におけるワークシートを利用した事前学習と授業活動の関係分析
- ・ グループプレゼンテーションにおけるオンラインのスライドの同時編集に関する分析
- ・ メタバースを利用した協調学習のための位置的距離を知覚可能なコミュニケーション環境の提案
- ・ メタバース内避難訓練の提案と試作システム
- ・ プログラミング演習における指導が必要な学習者の自動検出
- ・ パズル型プログラミング問題を用いた学習者の思考過程に基づく学習支援システムの開発
- ・ 模写コーディングによるプログラミング学習支援システムの開発
- ・ ソーシャルロボット、デジタルツイン環境等の利用体験型授業から考える教育 DX



2022 年度 第 6 回研究会 開催報告

担当者：浅羽 修丈（北九州市立大学），尾崎 拓郎（大阪教育大学）
鷹岡 亮（山口大学），永田 奈央美（静岡産業大学）
西端 律子（畿央大学），長谷川 理（武蔵野大学）
山本 樹（明海大学）

■ テーマ：

学校段階間での接続を意識したデータサイエンス教育／一般

■ 開催日時：

2023 年 3 月 18 日（土）

■ 開催場所：

北九州市立大学 北方キャンパス 本館 4F（対面及びオンライン開催）

■ 概要：

第 6 回研究会は、2023 年 3 月 18 日に対面とオンライン（Zoom）で開催しました。数理・データサイエンス・AI はデジタル社会の基本的な素養として、文理を問わず全ての学生にとって、あらゆる分野で活躍するために必要となる知識・技術であり、AI・ビッグデータ・IoT 等の急速な技術革新とともに、社会のあらゆる場面でデジタル・トランスフォーメーションが進む中、その必要性が益々高まっていることを踏まえ、「学校段階間での接続を意識したデータサイエンス教育」をテーマとし開催しました。このテーマに関する研究発表が数多く報告されましたが、それに加えて、「学習支援システム」、「ハイブリット型授業」、「学習コンテンツ」、「スキル学習」をキーワードとするさまざまな研究発表がありました。参加者は 77 名、発表件数は 25 件と多くの方にご参加いただきました。各セッションでは聴講されている方からの質問も多くあり、闊達な議論が行われました。これも参加された皆様のお陰です。当日のご発表・ご参加いただきました。深く感謝申し上げます。

■ 発表タイトル：

- ・ 講義前後に実施する力学概念調査（FCI）の比較検証
- ・ 産学連携を意識したデータサイエンス教育の実践と実データ活用能力の育成
- ・ 遠隔教育のグループ学習活動における教員の見とり支援について
- ・ コロナ禍における高等学校でのオンライン授業に対する生徒の意識の変容
- ・ 中学生を対象とした三角ロジック組立演習の実践利用と分析結果
- ・ 三角ブロックにおける情報不備課題の定義と演習化

- プログラミング初学者に向けた数理データサイエンス AI 教育プログラム選択学修項目の実践
- 線形代数における行列簡約化アルゴリズム学習支援システムの開発と学習履歴の分析
- 発達障害傾向を有する児童の学習場面におけるコミュニケーションロボットの活用
- 教科横断型のスキルの育成状況を可視化するカリキュラムマネジメントシステムの開発
- 大学生の食事行動変容に向けた新たな健康指標の検討-スマホ利用の有無による食事良識の腸音分析から-
- 医療安全教育プログラムの考察に向けた医療機関における安全対策の現状調査
- 学習支援サービスのコメント送信機能を活用した学習者の学びの過程の分析
- 脳波測定器 Muse2 による正確な脳波データの取得法分析
- 文系学部大学生のソーシャルメディア活用についての記述の分析
- Moodle を使ったオンライン・プレ・バズセッションの実践とその分析
- 事前学習における能動的学習情報に基づくプログラミング学習進捗状況把握
- プログラミング演習における学習者の進捗状況の把握を目的とした評価指標の提案
- ソースコード処理手順の学習によるコード補完機能の検討
- 視線情報を用いた図形特徴の読み取り順序理解支援システム
- 英語学習支援のための学力推定に基づいた学習ペースアルゴリズムの実装と評価
- 英文読み合いにおける Learning-by-Teaching 促進システムの評価
- 誤り発言からの学習者の誤り箇所候補推定トレーニングシステム
- 状態変化に基づく妥当性検証による活動分析支援システム
- インタラクティブロボット講義における注意・理解リカバリの有効性評価



2022 年度 特集論文研究会 開催報告

担当者： 学会誌編集委員会幹事 山崎 治（千葉工業大学）

- テーマ： 「答えのない課題の解決に挑む学び」 を支える教育システム・デザイン
- 開催日： 2023 年 3 月 18 日（土）
- 会 場： 北九州市立大学 北方キャンパス
- 開催形式： ハイブリッド(対面+Zoom)形式
- 発表件数： 24 件（閲読希望：12 件）
- 参加申込： 63 名

■ 概要：

特集論文研究会では、一昨年度からより良い閲読コメントをお渡しできるように、当日の発表内容を録画させていただき閲読させていただくことになりました。また、発表者には研究報告原稿の他に、発表する研究について「リサーチクエスト」「新規性」「有用性」「信頼性」の各主張点（論文投稿におけるカバーレターの内容に相当）をまとめて事前に提出をいただき、それらの点も閲読時に参考にさせていただいています。

1) 閲読コメント担当者は、1 編に対して 2 名

① 閲読者に事前に論文を送付

② 閲読者は当日の発表あるいは録画映像を踏まえて閲読コメントを作成

2) 閲読コメントは 2023 年 4 月 10 日（月）までに送付

■ 当日の会場運営に関する報告：

今年度は、第 6 回研究会と特集論文研究会を同日に開催いたしました。特集論文研究会は、対面とオンラインの会場をそれぞれ設けたハイブリッドの形式で実施をしました。対面の 2 会場ではそれぞれ午前 1 セッション、午後 2 セッション、オンラインの 1 会場では午前 1 セッション、午後 2 セッションで合計 8 セッションの開催となりました。昨年度の研究会はオンライン開催であったため、閲読希望ありの発表については、Zoom でのレコーディングを行っておりました。今年度もオンラインセッションでは Zoom のレコーディングを行うのとあわせて、対面会場ではビデオカメラによる発表・質疑応答の映像収録を行いました。サポートをいただきました皆様に感謝申し上げます。

また会場となりました北九州市立大学の北方キャンパスもモノレール駅から近いため非常にアクセスがしやすく、教室の設備やネットワーク環境などのインフラも整っており、準備および当日の運営も円滑に進めることができました。現地校の担当となってくださいました北九州市立大学の浅羽修丈先生におかれましては、きめ細かなご配慮をいただきましたこと、この場をお借りして御礼申し上げます。

■ 編集委員会からの報告と関連企画のご案内：

今年度は対面セッションが復活し、対面の2会場（6セッション）とオンラインの1会場（2セッション）としてハイブリッド形式での開催となりました。閱讀希望ありの発表は発表時間20分と質疑応答20分、閱讀希望なしの発表は発表時間20分と質疑応答5分で行われ、それぞれのご発表で有意義な議論が展開されました。対面は対面の良さ、オンラインはオンラインの良さがあることを改めて実感する機会にもなりました。閱讀を担当される研究会委員会委員および学会誌編集委員会委員の皆さまには、研究会前後も含めまして、研究報告原稿の読み込みや収録映像のご確認、閱讀コメントの作成にご尽力いただくこととなります。ご協力をいただき感謝申し上げます。

本特集論文研究会は、論文特集号との連動企画となっております。特集テーマは、今回の特集論文研究会のテーマでもあります『『答えのない課題の解決に挑む学び』を支える教育システム・デザイン』です。2024年7月発行予定となります学会誌特集論文号の案内を学会Webサイト(https://www.jsise.org/cfp2023_offer/)にて掲載しております。論文投稿の締切は【2023年6月1日(木)】です。詳細は学会Webサイト上の情報をご確認ください。閱讀希望なしでご発表になった研究、また、本研究会で発表いただいていない研究の内容もご投稿可能です。皆様のご投稿を心よりお待ちしております。

次年度以降も3月に開催されます特集論文研究会に、第6回研究会とあわせてのご参加をぜひご検討ください。



2022 年度学生研究発表会開催報告・優秀賞のお知らせ

担当者： 人材育成委員会

2022 年度 JSiSE 学生研究発表会は、2023 年 2 月後半から 3 月中旬にかけて、北海道、北信越、関東、東海、関西、中国、四国、九州・沖縄の地区で、各支部主催により開催されました。発表総件数は 135 件、参加者数は 325 名と、各会場とも盛況な研究発表会となりました。各地区の優秀な発表については、優秀賞として選定されています。

各地区の学生研究発表会の参加者数および発表者数、ならびに受賞リストは以下の通りです。

学生研究発表会開催状況

地区	地区担当者	開催日	発表件数	参加者数
北海道	山本 裕一（北海道大学）	2023 年 3 月 7 日（火）	9（口頭のみ）	20
北信越	森 祥寛（金沢大学）	2023 年 3 月 7 日（火）	21（口頭のみ）	51
関東	辻 靖彦（放送大学）・ 山本 樹（明海大学）	2023 年 3 月 6 日（月）	11（口頭のみ）	41
東海	村瀬孝宏（中京学院大学）	2023 年 2 月 20 日（月）	10（口頭のみ）	30
関西	河野 稔（兵庫大学）	2023 年 3 月 6 日（月）	34（口頭 24, ポスター 10）	81
中国	松本慎平（広島工業大学）	2023 年 2 月 23 日（木）	26（口頭のみ）	48
四国	米谷 雄介（香川大学）	2023 年 3 月 13 日（月）	11（口頭及びポスター）	23
九州・ 沖縄	辻利則（宮崎公立大学）・ 小渡 悟（沖縄国際大学）	2022 年 3 月 7 日（火）	13（口頭のみ）	31

優秀賞（優秀発表賞・優秀ポスター発表賞）

地区	受賞者氏名	受賞者所属	タイトル
北海道	豊崎 駿佑	公立千歳科学技術大学	MR を用いたネットワーク学習教材の開発
	藤島 美空	公立千歳科学技術大学	英語プレゼンテーション学習支援用 AI の開発
北信越	浅井 雄大	信州大学工学部	ドローイングプロセスでのアウトライン描画段階における定量的特徴に関する基礎的検討
	立花 柁樹	信州大学	フォースプレートデータを基準とした歩行動作における Heel Strike 検出アルゴリズムの基礎的検討
	近藤 由英	長野工業高等専門学校	歌唱時における呼吸データの傾向と特徴
	高橋 一真	北陸先端科学技術大学院大学	論理的な構造と表現に着目したプレゼンテーション作成支援システムの開発

関東	富川 雄斗	電気通信大学	読解対象文の難易度を考慮した読解問題自動生成手法
	篠原 洸一	早稲田大学大学院	生体情報を用いた学習中における学習者の感情隠蔽状態の推定及びフィードバック生成
東海	中野 愛実	静岡大学大学院	医学系対訳コーパスを用いた英語学習支援システムの実使用に伴う履歴データ分析と評価
	里見 陸	静岡大学	CEFR 準拠 CDS 自動分類システムの精度改善を目的とした推定改良手法の提案
	高田 知樹	名古屋大学	数学オンラインテストにおける解答の推移の三次元可視化と分析
関西	浅井 良輝	大阪工業大学	対面とメタバースでのグループワークについての研究 (*)
	杉 野 菜 月 他 2 名	大阪府立大学	ウォーキング習慣定着のための健康イベントの考案—生活習慣病予防における大学生向け実践教育— (*)
	中里 耕作	奈良工業高等専門学校	構文要素の差分を用いたプログラム作成問題の難易度分析 (*)
	松本 隆誠	和歌山大学	追尾空撮シミュレータによるドローンの操縦スキル学習支援
	河野 亜美	和歌山大学大学院	フランス革命を題材とするインタラクションサイクルによる記憶促進を意図した学習支援システムの構築
	若狭 成宗	和歌山大学	MR 環境における文字入力手法の創出
	植野 泰史	和歌山大学大学院	雅楽の初級者のための龍笛の合奏練習支援システムの提案と構築
	東 竜世	和歌山大学	視線追跡装置を使用した飛躍性眼球運動能力の向上を目的としたトレーニングシステムの構築とその検証
	岡村 将生	和歌山大学大学院	ニューラルネットワークを用いたコーヒー豆の焙煎予測システムの構築と学習効果の検証
中国	森田 博人	広島市立大学	デジタル教科書システムのデータを用いた理解度可視化による学習支援
	武久 芽唯	京都教育大学	数学と音楽の教科横断的な教材作成について
	小宮山 貴仁	京都教育大学	一刀切りを用いた平面図形の教材開発と数学的能力の向上について
	今井 悠太	広島大学大学院	漢字に対する能動的認識を指向した漢字分解演習環境の開発と評価
四国	細川 雄也	香川大学	スマートシティ推進に向けたデザイン思考に基づく地域 IoT 開発体験用 MR システムの提案

	植田 悠斗	高知大学	研究授業レビュー支援システムのための電子化指導案の提示手法
	眞利 拓未	徳島大学	鉄道車両運転における視線の振る舞い学習支援に関する一考察
九州・ 沖縄	佐藤 錬 他 4 名	熊本県立大学	来園者を対象とした熊本市動植物園マップアプリの開発とその評価
	知念 航太	沖縄国際大学	画像認識を用いた駐車場管理システムの提案 -物体検出モデルの構築-
	塩月 一恵	延岡市立土々呂中学校 (宮崎大学)	中学校英語科における言語活動の更なる充実に向けた遠隔授業の可能性の追究 -インストラクショナルデザインに基づく授業設計を通して -

*は優秀ポスター発表賞である。なお四国地区は、全発表が口頭発表とポスター発表を行っている。



研究会報告年間購読の申し込みについて

研究会報告は、2016年度からは印刷媒体での研究会報告は廃止し、オンライン上でタイムリーかつオンデマンドな閲覧が可能となるように、研究会報告を電子化しています。保管などの手間もなく、大変便利に活用できるようになっております。

是非、研究会報告の「年間購読」のお申し込みをご検討いただければ幸いです。研究会当日も電子媒体として販売する予定ですが、年間購読がお得になっております。

- ・年間購読:4,000 円（定例研究会年 6 回，特集研究会 1 回，計 7 回分を含む）
- ・当日販売:1 冊 1,000 円

新規での「年間購読」申込みにつきましては、年会費をお支払いいただく前に会員種別変更申込をお願いします。以下の手順でお申し込みください。すでに年間購読をしていた方は手続き不要です。

- 1) 年会費納入手続きの前に、下記フォームにて事務局（secretariat@jsise.org）まで年間購読申込をしてください。

=====

※研究会報告年間購読希望
会員番号（お分かりであれば）：
お名前：
所属：
連絡先 e メールアドレス：
=====

- 2) 手続き終了後、事務局より会員種別変更完了のご連絡を差し上げます。
- 3) マイページから年会費と合わせて年間購読費をお支払いください。

※年会費納入後に「年間購読」を申込みご希望の場合は、事務局（secretariat@jsise.org）までご連絡ください。年間購読の請求書をお送りし、会員種別変更の手続きを進めさせていただきます。

北 信 越 支 部 よ り 活 動 報 告

北信越支部学生研究発表会開催報告

担当者：香山瑞恵（信州大学）

中平勝子（長岡技術科学大学）

森 祥寛（金沢大学）

2022 年度北信越支部学生研究発表会は、3 月 7 日（火）に、長岡技術科学大学がホスト校となり、2D のメタバース上でオンライン会議などが実施できる oVice (<https://www.ovice.com/>) を用いて開催しました。

2022 年度は、この Zoom や Webex などとはことなるメタバースを用いた開催に興味を引かれたのでしょうか、学生研究発表には 21 件の申込みがありました。研究会には、最大 51 名が参加し、最終的に優秀発表 4 名、その中から年次大会への推薦 1 名を選ばせていただきました。

oVice による開催では、PC 画面上のメタバースに表示される自身のアイコンの位置を動かすことで、発表者の声の大きさが変わったり、発表会場以外に交流スペースを設けることで、発表後の発表者である学生との個別の話ができたりといろいろな面白い仕掛けがあり、コロナ禍における影響からのオンライン活用の発達、発展度合いを感じることができました。また、敢えて 2 次元平面上に会場を描きそこをメタバースとして活用できるというのは、パソコン 1 つだけで物理的な感覚（アイコン同士の近さに応じて伝わる声の大きさが変わるなど）を持ったオンラインによる作業ができ、メタバースの可能性の広さを感じることができました。発表会場で、発表用の舞台の向かいに椅子が並べて描かれていると、参加者全員が、アイコンをお行儀良く椅子の上に配置するというのも面白かったですね。

2022 年度の学生研究発表会では、発表者が 21 名という、北信越支部では過去に類を見ない規模となりました。これは JSiSE 北信越支部に所属する先生方が、学生指導を頑張っている成果であると考えています。最後に、これは毎回書いていることですが、来年こそは、顔を合わせた学生研究発表会を開催したいと考えています。

広報からのお知らせ



Web サイトがリニューアルされました

2023年1月23日に、JSiSEのWebサイトがリニューアルされました。従来よりも見やすく、操作も分かりやすくなっています。新しくなったWebサイトをぜひご覧ください。

また、何かお気づきの点があれば、遠慮なく学会事務局までお問い合わせください。



Twitter アカウントの紹介

2016年8月下旬より、全国大会開催に合わせて学会の公式Twitterアカウントを開設しました。本アカウントは原則として当学会の広報を目的とした配信専用としております。本学会へのご質問・お問い合わせは、学会事務局（secretariat@jsise.org）へお願いします。

<https://twitter.com/JsisePr>

☆ 2023年3月27日現在、フォロワー数 262 アカウント



Facebook ページもご覧ください

教育システム情報学会の公式Facebookページを運用しています。本ページでは、論文・発表募集や本学会に関連するイベントの情報などをお届けしています。ぜひ、ご覧下さい。

Facebook ユーザの方は、ぜひ、「いいね」をお願いいたします。

<https://www.facebook.com/jsise.org/>

☆ 2023年1月23日現在、いいね 531 件、580 人フォロー

Twitter, Facebook への情報掲載の依頼などは学会事務局（secretariat@jsise.org）までお問い合わせください。



他団体 協賛・後援イベントのお知らせ

協賛「2023 年度工学教育研究講演会」

日時：2023 年 9 月 6 日～8 日

会場：広島大学東広島キャンパス

後援名義使用「第 34 回全国高等専門学校プログラミングコンテスト」

日時：2023 年 5 月 15 日～10 月 15 日

会場：予選：東京都立産業技術高専品川キャンパス／本選：サンドーム福井

後援「第 4 回学力向上アプリコンテスト」

日時：2023 年 4 月 1 日～2023 年 11 月 11 日

会場：オンライン開催

共同運営ならびに名義使用「e ラーニング・トレンド・フェア（併設イベント：関西教育 ICT 展）」

日時：2023 年 8 月 3 日～4 日

会場：インテックス大阪



国際会議のご案内

- 2023 年 6 月開催

WCE 2023: The 10th World Congress on Education

開催期間 : June 26-28, 2023

開催地 : Toronto, Canada

URL: <https://worldconedu.org>

- 2023 年 7 月開催

EdMedia + Innovate Learning Summit

開催期間 : July 10-14, 2023

開催地 : Vienna, Austria

URL: <https://www.aace.org/conf/edmedia/>

- 2023 年 7 月開催

17th International Conference on e-Learning and Digital Learning 2023

開催期間 : July 15-17, 2023

開催地 : Porto, Portugal

URL: <http://www.elearning-conf.org/>

- 2023 年 10 月開催

EDUCAUSE 2023

開催期間 : October 9-12, 2023

開催地 : Chicago, Illinois

開催期間 : October 18-19, 2023

開催地 : Online

URL: <https://events.educause.edu/annual-conference>

投稿締切 : April 17, 2023

- 2023 年 11 月開催

2023 Open Education Conference

開催期間 : November 7-9, 2023

開催地 : Online

URL: <https://openeducationconference.org/2023/>

投稿締切 : April 17, 2023

- 2023 年 12 月開催

ICCE2023: The 31st International Conference on Computers in Education

開催期間 : December 4-8, 2023

開催地 : Matsue, Shimane

URL: <https://eds.let.media.kyoto-u.ac.jp/ICCE2023/>

投稿締切 : May 1, 2023

- 2024 年 1 月開催

The 22nd Annual Hawaii International Conference on Education

開催期間 : January 3-6, 2024

開催地 : Waikoloa, Hawaii

URL: <https://hiceducation.org>

投稿締切 : August 7, 2023



会費納入のお願い

学会の運営は皆様の年会費で支えられております。今年度の年会費が未納の方はご入金をお願いいたします。なお、10月以降に年会費が未納の場合、学会誌の送付が一時休止されます。入金確認後、入金日の翌月末までに今年度内の未送付分も合わせて学会誌の送付を再開いたします。3月末までに入金を確認できない場合は、未送付分の学会誌はお送りできなくなりますので、お早めにお手続きをお願いいたします。

URL <https://bunken.org/jsise/mypage/Login>

※会員専用ページのURLは、会員情報管理システムの業務委託をしている株式会社国際文献社のものです。

- 「銀行振込」をご希望の方は、下記のいずれかの口座へお振込みをお願いいたします。

■振込先

◆ゆうちょ銀行

口座記号番号：00180-6-709632

加入者名：一般社団法人教育システム情報学会

フリガナ：シャ)キョウイクシステムジョウホウガッカイ

※他金融機関からゆうちょ銀行に振込む場合

銀行名：ゆうちょ銀行（金融機関コード：9900）

店名：〇一九 店（ゼロイチキョウ店） 預金種別：当座 口座番号：0709632

名義：一般社団法人教育システム情報学会

フリガナ：シャ)キョウイクシステムジョウホウガッカイ

◆三菱 UFJ 銀行（金融機関コード：0005）

店名：上新庄支店（カミシンジョウ支店）

預金種別：普通 口座番号：0142708

名義：一般社団法人教育システム情報学会

フリガナ：シャ)キョウイクシステムジョウホウガッカイ

◆みずほ銀行（金融機関コード：0001）

店名：茨木 支店（イバラキ支店）

預金種別：普通 口座番号：1399483

名義：一般社団法人教育システム情報学会

フリガナ：シャ)キョウイクシステムジョウホウガッカイ

- 請求書・領収書（支払い後）は、マイページでオンライン発行できます。
- 請求書・領収書の郵送をご希望の方は、事務局（secretariat@jsise.org）までご連絡ください。

※団体名でお振込みいただきますと、個人を特定できない場合がございますので、振込名に会員番号またはお名前をご入力いただくか、難しい場合は、振込内容を事務局までご連絡いただければ幸いです。
※所属が変わった方は、マイページにログインした際に、連絡先などを変更するようお願いいたします。

【過年度年会費を支払われていない方へ】

マイページでは、全ての年度の未納金額を合算した金額が請求されます。先に本年度以前の分のお支払いを希望される方は、先に郵送された払込用紙付請求書をご利用になるか、学会事務局（secretariat@jsise.org）までご連絡下さい。

※会費のお支払いが確認できない場合、学会からの送付物を一時休止いたします。なお、会費を3年以上滞納したときには、会員資格を喪失しますのでご注意ください。

ご不明な点は、事務局（secretariat@jsise.org）までお問合せ下さい。

〒162-0801 東京都新宿区山吹町 358-5 アカデミーセンター
Tel:03-6824-9376 Fax:03-5227-8631 Email : secretariat@jsise.org



事務局より



会員専用ページのご案内

URL : <https://bunken.org/jsise/mypage/Login>

※会員専用ページの URL は、会員情報管理システムの業務委託をしております株式会社国際文献社のものです。

■会員専用ページでは、以下のことができます。

1. 会員個人ページでの、現在の登録情報の確認・変更
2. 年会費納入状況の確認
3. 会費の納入、クレジット/コンビニ決済
4. パスワードの変更

会員種別、フリガナ、研究報告年間購読の登録等はマイページでは変更できませんので、お手数ですが JSiSE 事務局会員窓口（secretariat@jsise.org）までご連絡をお願い致します。

ログインには、ID とパスワードが必要です。

パスワードをお忘れになった場合は、上記ウェブサイトにて照会できます。何かご不明な点がございましたら、JSiSE 事務局会員窓口（secretariat@jsise.org）までご連絡ください。

今後とも教育システム情報学会の活動にご理解ご協力のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。



入会のご案内

入会をご希望の方は、下記のサイトよりオンライン入会申込フォームにアクセスしていただき、お申し込みをお願いいたします。

URL : <http://www.jsise.org/admission/index.html>

☆キャンペーン☆

※現在、本学会開催の研究会等で、会場にて新規お申し込みいただいた方には、
入会金を無料にさせて頂くというキャンペーンを行っております。
そちらも、合わせてご案内いただきますようお願いいたします。